

よりよい生き方を主体的に探求させる志教育の推進

～「学校の日常活動」と「地域社会と連携した体験活動」
を相互に関連付けた実践モデルの提案を通して～

【研究の概要】

現在、宮城県は小・中・高等学校の全時期を通じた「志教育」を推進しています。本研究は、小・中・高等学校のそれぞれの発達段階に応じて、よりよい生き方を主体的に探求させるため、「学校の日常活動」を志教育の視点で捉え直し、志教育を推進するための基盤をつくりながら、「地域社会と連携した体験活動」と相互に関連付けた実践モデルを提案するものです。

今日的な課題から

- ・若者の精神的、社会的自立の遅れ

国や県の施策から

- ・キャリア教育の推進
- ・志教育の推進

宮城の児童生徒の現状から

- ・いじめ、不登校への対応

震災後の状況から

- ・未来を担う人材の育成

志教育3つの視点の具現化のために以下の2つの工夫を考えました

☆役割を果たしながら他者と
関わる人間関係づくりの工夫
【はたす】【かかわる】

☆よりよい生活やよりよい生き方を
求めさせ、主体的な活動を促す
ための工夫 【もとめる】

2つの工夫を実践するため、
教師の指導・支援のための基本システムを考案しました

基本システムを基に社会性・主体性・責任感を育みながら、児童生徒に自己と社会のつながりを意識させるため、「学校の日常活動」と「地域社会と連携した体験活動」を相互に関連付けた実践モデルを提案します

実践モデル

学校の日常活動

- 係活動・班活動
- 児童会活動
- 生徒会活動
- 部活動

地域社会と連携した 体験活動

- 農業体験学習
- 福祉施設訪問
- 職業人インタビューなど

相互に
関連付ける

目指す児童生徒像

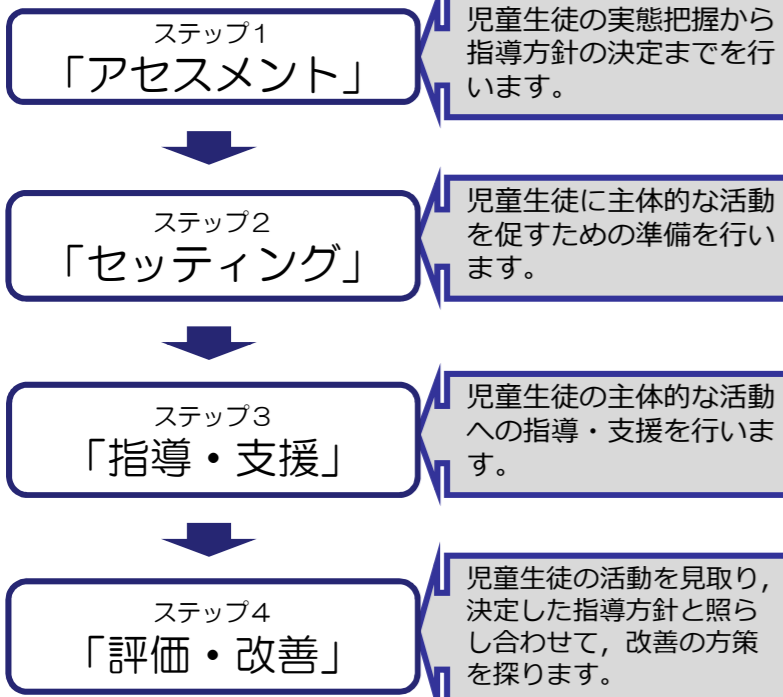
よりよい生き方を主体的に探求する児童生徒

みやぎの志教育

▼基本システムとは

自己の役割を果たしながら、他者と関わることを通して、児童生徒の社会性・主体性・責任感を育成することをねらい、教師が行うべき指導・支援を4つのステップで示したものです。

小集団での活動を基本とし、互いに支え合いながら目標達成に向けて協同的に活動させ、望ましい人間関係を築かせながら主体的に活動する態度を育成していきます。



▼基本システムを共通の基盤として

小集団を基盤としながら体験活動を積み重ねることで、社会性や主体性、責任感を育むことができると考えます。

▼学校の日常活動

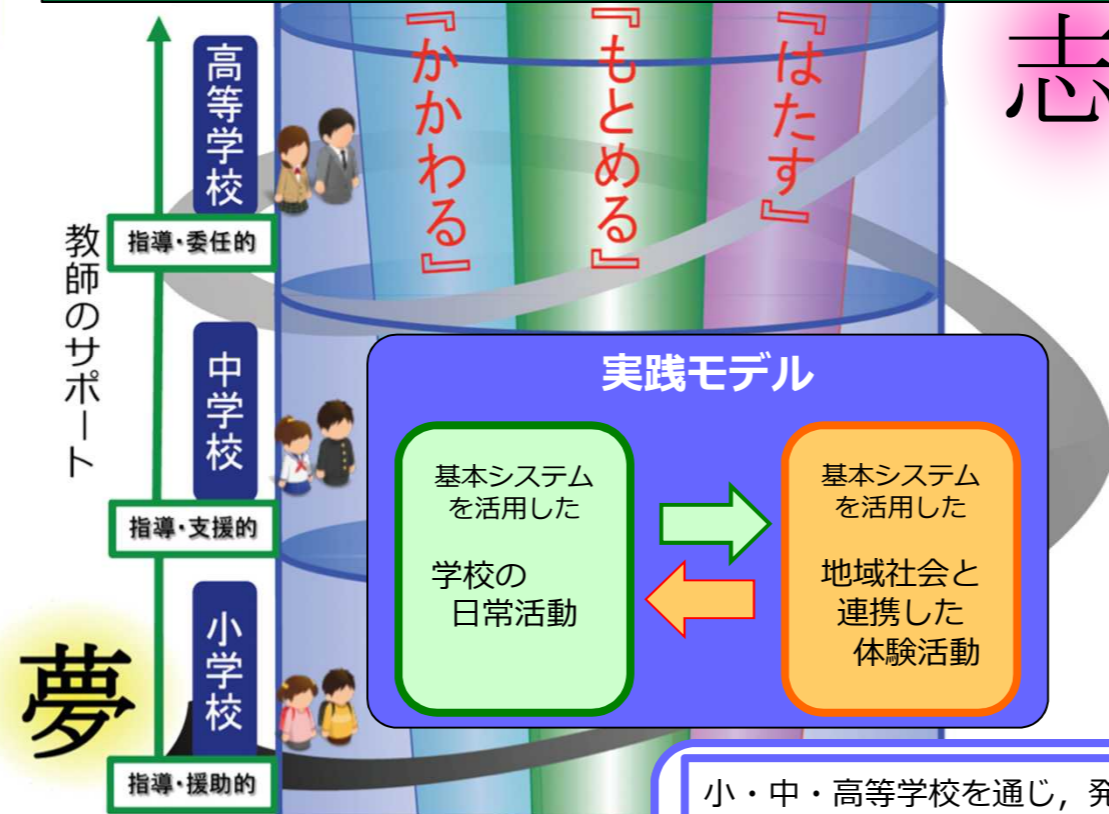
学校の日常活動（学級の班・係活動、児童会活動、生徒会活動、部活動）においては、「計画」「実践」「振り返り」というサイクルを繰り返しながら、日常的・継続的に体験を積み重ねさせます。学校生活の充実を目指しながら活動させ、望ましい人間関係を築くと共に、主体的な態度を身に付けさせていきます。

▼地域社会と連携した体験活動

地域社会と連携した体験活動（生活科、総合的な学習の時間、学校行事等）においても、主体的に「計画」「実践」「振り返り」を行わせることで、社会とのつながりを実感させながら、望ましい勤労観、職業観等を養います。

これまで各学校で行われている学校の日常活動や地域社会と連携した体験活動を、本研究で大切にしたいポイントである2つの工夫を実践するための基本システムを活用して見直し、児童生徒の主体的な活動を促す一貫した指導・支援を行います。

「志教育」は、これまで各学校で取り組まれていることを確認した上で、「志教育」の3つの視点から見直し、年間を通した横のつながりや小・中・高等学校の12年間の縦の系統を踏まえ、計画的・意図的に推進することが大切です。



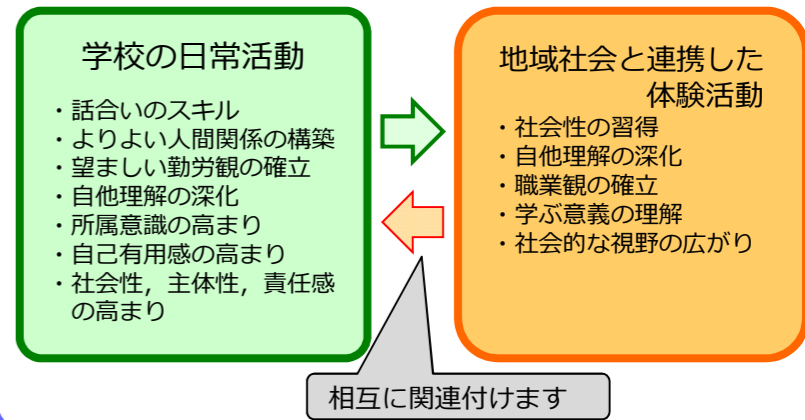
▼実践モデルとは

基本システムを活用した「学校の日常活動」と「地域社会と連携した体験活動」を相互に関連付けることによって、よりよい生き方を主体的に探求する児童生徒を育成するためのものです。

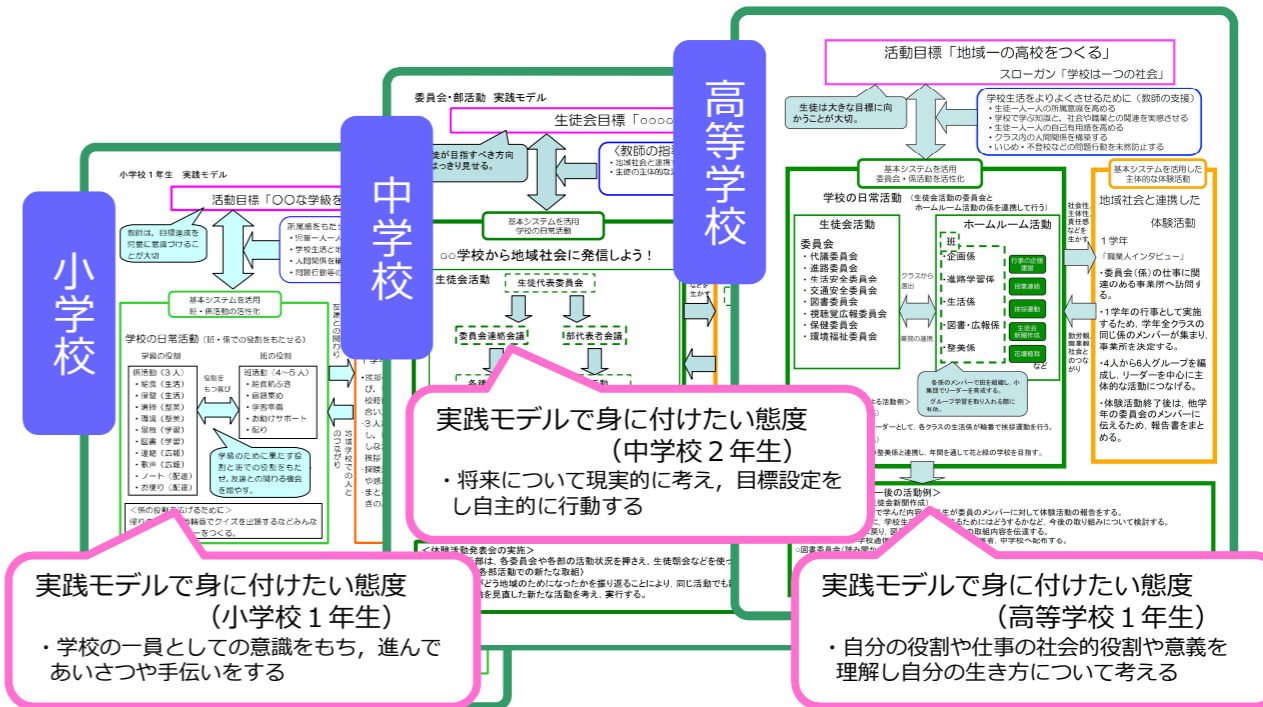
▼関連付けるとは

児童生徒は、「学校の日常活動」でも「地域社会と連携した体験活動」においても、「計画」「実践」「振り返り」のサイクルで活動します。それぞれの活動で身に付けた態度や力を相互に生かすことを関連付けることとおさえました。

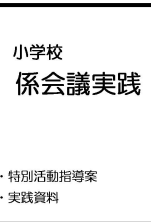
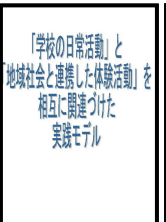
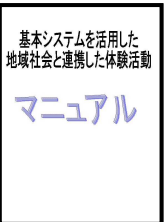
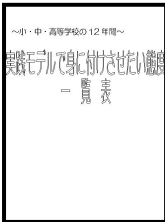
▼関連付けたい態度や力



小・中・高等学校を通じ、発達段階に応じた「実践モデル」を提案します



資料集の中は・・・



各学年で身に付けさせたい態度を示しました。

「発達段階に応じた実践モデルで身に付けさせたい態度」

| | 志教育で はぐくみたい姿 | 学校の日常活動 で身に付けたい態度 | 地域社会と連携した体験活動 で身に付けたい態度 | 実践モデルで身に付けたい態度 |
|-------------|--|--|---|--|
| 小学校 1年生 | <ul style="list-style-type: none"> ○家族や友達等身近な人々と接しながらあいさつや返事をし、自分の気持ちを伝えることができる。 【かかわる】 ○自分の好きなことや興味をもったことに進んで取り組む。 【もとめる】 ○家庭での手伝いや学級の係活動・清掃活動等に関心をもって取り組む。 【はたす】 | <ul style="list-style-type: none"> ・友達に進んであいさつをする。 ・自分でできることを増やす。 ・自分の役割に楽しんで取り組む。 | <ul style="list-style-type: none"> ・学校の先生や上級生と触れ合い、学校生活への意欲を高める。 <p>【体験活動例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がっこうたんけん ・お手伝い大作戦 | <ul style="list-style-type: none"> ・学校の一員としての意識を持ち、進んであいさつや手伝いをする。 |
| 小学校 5年生 | <p>学校の日常活動</p> <p>ステップの内容を分かりやすく解説しました。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・自分のよさを生かしながら、友達と協力して活動する。 ・学校生活をよりよくするために自分にできることを ・自分の役割に責任を組む。 | <p>地域社会と連携した体験活動</p> <p>ステップに合わせて自校の体験活動を見直しましょう。</p> | <p>小学校係会議実践資料</p> <p>係会議の内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自分の役割を振り返る ① 班・学級の仕事 ② よかったこと |
| 中学校 1年生 | <p>期待できる効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆小・中・高等学校で志教育3つの視点を意識した指導を日常的、継続的に行うことができる。 ☆児童生徒が互いに支えあう人間関係の構築につながり、いじめ・不登校等の未然防止となる。 ☆小集団での話し合い活動は、活動への意欲を高めることに加え、言語活動の充実にもつながる。 ☆主体的に活動する態度は、学ぶ意義の理解や学習意欲につながり、学力の向上が期待できる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・小学校の先生や上級生と触れ合い、学校生活への意欲を高める。 ・目標や計画を立てる。 ・中学校の一員としての意識を築く。 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域の職業や生き方について考え、その具体化に向けて、学習や体験活動に全力で取り組む。 ・地域社会の中で、果たすべき役割について考える。 <p>【体験活動例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職業人講話 ・大学、職場見学 | <ul style="list-style-type: none"> ・集団や社会の中で果たすべき自己の役割を考える。 ・職業についての総合的・現実的な理解に基づいて将来を設計し、その実現のための進路計画を立案する。 |
| 高等学校 3年生 | <ul style="list-style-type: none"> ○学校や社会において自分の果たすべき役割を自覚し、責任を果たすことができる。 【はたす】 ○社会の中でより価値の高い生き方、自己を生かす生き方について考えを深める。 【はたす】 | <ul style="list-style-type: none"> ・学校において、自分の役割を自覚し、様々な課題や仕事内容に積極的に取り組み、主体的に解決しようとする。 ・学校のリーダーとしての意識 ・普段から自分の進路を意識する ・全員がそれぞれの進路達成に向けて目標をもち行動する | <ul style="list-style-type: none"> ・地域の職業や生き方について考え、その具体化に向けて、学習や体験活動に全力で取り組む。 ・地域社会の中で、果たすべき役割について考える。 <p>【体験活動例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職業人講話 ・大学、職場見学 | <ul style="list-style-type: none"> ・集団や社会の中で果たすべき自己の役割を考える。 ・職業についての総合的・現実的な理解に基づいて将来を設計し、その実現のための進路計画を立案する。 |

期待できる効果

- ☆小・中・高等学校で志教育3つの視点を意識した指導を日常的、継続的に行うことができる。
- ☆児童生徒が互いに支えあう人間関係の構築につながり、いじめ・不登校等の未然防止となる。
- ☆小集団での話し合い活動は、活動への意欲を高めることに加え、言語活動の充実にもつながる。
- ☆主体的に活動する態度は、学ぶ意義の理解や学習意欲につながり、学力の向上が期待できる。

宮城県教育研修センター

〒980-0845 仙台市青葉区荒巻字青葉393
 電話：022-227-2626
 FAX：022-213-8635
 URL <http://www.edu-c.pref.miyagi.jp/>

平成24年度 教育相談・生徒指導グループ
 専門研究員 利府町立青山小学校 津田 友昭
 栗原市立若柳中学校 加藤 純一
 宮城県気仙沼沼洋高等学校 片岡 剛
 指導主事 教育相談班 中里 和裕
 企画研究班 土屋 瑞枝
 教育相談班 万城目直樹